

# 電解・高圧処理機 見学会

## 約50人の見学者が参加

### 液肥やイチゴも好評

去る2月14日(土)、熊本県和水町(なごみ)の野中ファーム様において、高圧処理機の見学会を開催し、各地から約50人の参加者にお越しいただき、盛況の裡に見学会を行うことができました。

見学会は処理機を設置している養鶏農家の野中ファーム様の全面的な協力を得て、福岡や熊本はもとより、鹿児島や遠くは岐阜、神戸からも酪農関係者、耕種農家、堆肥製造販売業者などの農業関係者をはじめ、環境リサイクルに関心をもつ多くの方に参加していただきました。



高圧処理機「MACRO-EHP」

### 処理の速さに驚き

当日は野中ファーム様から排出される鶏ふん、約2.5m<sup>3</sup>を30分程度で処理する様子を見ていただき、短時間で加水分解によって堆肥化された生成物を見ていただきました。



処理後の鶏ふん

参加者からは、「実際に処理機を見て、改めてその能力と処理スピードに驚かされた」「今後はぜひ、各方面で紹介していきたい」「自分たちのところでも設置して使ってみたい」等々の声をいただきました。一方、「本当に有効な堆肥になっているのか確かめたい」という声も聞かれました。

### 加水分解肥料の特徴を説明

処理後の生成物については、既に牛ふんとバーク材による堆肥を日田市の白菜畑において実験使用し、良い結果を生んでいることなどを資料を通して説明しましたが、併せて野中氏からは微生物分解とは違う特徴をもつ加水分解処理による堆肥や肥料の特徴について参加者に詳しい説明がありました。

参加者の中には野中ファーム様で製造した鶏ふん肥料や処理機によって製造された液肥などを買い求める人もあり、生成物への関心の高さがうかがえました。



野中氏の説明に聞き入る参加者

### イチゴも大好評

また、加水分解処理をした肥料や液肥を使って生産したイチゴの試食も大変好評で、「農作物に付加価値をつけてブランド化したい」等の声も聞かれ、この処理機「MACRO EHP」が単なる「廃棄物処理装置」ではなく、新たな価値を生み出す「資源創造装置」であることを多くの皆さまに理解していただけたのではないかと自負しております。

弊社ではさらに本処理機を広く皆さまに知っていただき、環境や農業分野において活用していただき、ぜひとも循環型社会の構築に寄与していきたいと考えております。



驚異の糖度を誇るイチゴ

### 新型処理機も見学

この後、参加者は処理機の製造を請け負っている「M・Eファクトリー」へ移動し、近く福岡市のし尿汚泥を処理するために納入される新型の電解・高圧処理の圧力容器を見学しました。



2つの攪拌軸(黄色部分)を持つ新型機

新型の処理機は攪拌軸を2軸にし、攪拌能力を飛躍的に高めるとともに、処理対象物の投入・排出についても工夫をし、さらに進化した処理機で、その処理量も大きく改善されています。間近で見る処理機の迫力に参加者からも感嘆の声が漏れていました。



トーヨーマクロ合同会社